

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公開番号】特開2005-118174(P2005-118174A)

【公開日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2005-018

【出願番号】特願2003-354426(P2003-354426)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月13日(2006.10.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域の所定部位に設けられ、図柄を変動表示可能な第1の表示部と、前記第1の表示部とは別に設けられ、図柄を変動表示可能な第2の表示部とを備え、前記第1の表示部において、図柄が予め定められた特定態様で停止表示された場合に遊技者に有利な特別遊技状態を発生可能であり、前記第2の表示部において、図柄が予め定められた特定態様で停止表示された場合に遊技者に有利な特別遊技状態を発生可能な遊技機であって、

前記第1及び第2の表示部におけるそれぞれの表示態様に対応させて個別に並行して音声を出力するよう制御する音声制御手段を備え、

前記音声制御手段は、前記第1の表示部、第2の表示部のうち、一方において、図柄が予め定められた特定態様で変動表示される場合には、当該一方の表示部に対応する音声を優先出力することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

遊技領域の所定部位に設けられ、図柄を変動表示可能な第1の表示部と、前記第1の表示部とは別に設けられ、図柄を変動表示可能な第2の表示部とを備え、前記第1の表示部において、図柄が予め定められた特定態様で停止表示された場合に遊技者に有利な特別遊技状態を発生可能であり、前記第2の表示部において、図柄が予め定められた特定態様で停止表示された場合に遊技者に有利な特別遊技状態を発生可能な遊技機であって、

前記第1及び第2の表示部におけるそれぞれの表示態様に対応させて個別に並行して音声を出力するよう制御する音声制御手段を備え、

前記音声制御手段は、前記第1の表示部、第2の表示部のうち、一方において、図柄が予め定められた特定態様で停止表示される場合には、当該一方の表示部に対応する音声を優先出力することを特徴とする遊技機。

【請求項3】

前記第1の表示部に対応して第1の音声出力部が設けられるとともに、前記第2の表示部に対応して第2の音声出力部が設けられ、

前記音声制御手段は、前記第1及び第2の音声出力部を介して音声出力制御を実行する

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 4】

所定条件が成立した場合、前記第1及び第2の表示部において、同一時期に図柄の変動表示が開始されることを特徴とする請求項1乃至3のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記第1及び第2の表示部における表示制御を行う表示制御手段を備え、前記音声制御手段は、前記表示制御手段からの指令に基づいて、音声出力を制御することを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 6】

前記第1の表示部及び第2の表示部は、単一の表示部が区画されることにより構成されていることを特徴とする請求項1乃至5のいずれかに記載の遊技機。